



# トータル・リターンと商品上場投資信託（商品ETF）

## トータル・リターンについて

ETF セキュリティーズグループが発行する商品ETFは、トータル・リターンでの投資を実現するETFです（現物を担保とするETFを除きます）。

トータル・リターンとは、100%担保付きで商品先物のロング・ポジションのみを保有することにより、投資家ができることのできるリターンです。

トータル・リターンは、現物価格リターン（スポット・リターン）、ロール・リターン、証拠金リターンの3つのリターンで構成されています。

## トータル・リターンを用いる理由について

トータル・リターンを用いて商品のリターンを測定する理由は、スポット・リターンが投資可能なリターンではないからです。スポット・リターンが投資可能なリターンではない理由は、投資家が投資目的で保有する商品のほとんどが現物での保有に適していないからです。

## スポット・リターンについて

スポット・リターンとは、対象先物契約（一般的に期近限月あるいは現物の先物契約）の価格変化率です。

## ロール・リターンについて

ロール・リターンは、期日が到来する前に期近限月の先物を売却し、その売却代金を次限月の先物に再投資する（通常1~3カ月ごと）ことにより発生するリターンです。乗換えを繰り返すことにより、投資資金は全額が常時、投資された状態になります。ロール・リターンはプラス（バックワーディション）の場合もマイナス（コンタンゴ）の場合もあります。

## バックワーディションとコンタンゴ

期近の先物価格（ $P_1$ ）が次限月の先物価格（ $P_2$ ）より高い価格になることを「バックワーディション」の状態にあると言います。このときに乗換えを行えば、ロール・リターンはプラスになります。

「コンタンゴ」はこの逆となります。

## エクセス・リターン

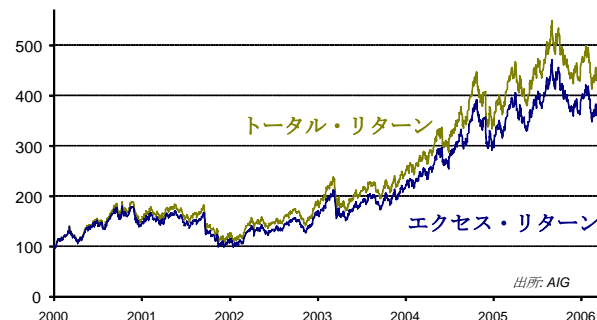
エクセス・リターンは、スポット・リターンとロール・リターンの合計です。エクセス・リターンは、無担保の商品先物ポジションのリターンを測定したものです。特に断りがない限り、DJ-UBSCI 商品指数はエクセス・リターンの指数です。

## 証拠金リターンについて

証拠金リターンとは、担保の差し入れに伴う収益を指しており、100%担保付き商品先物ポジションから発生するものです。

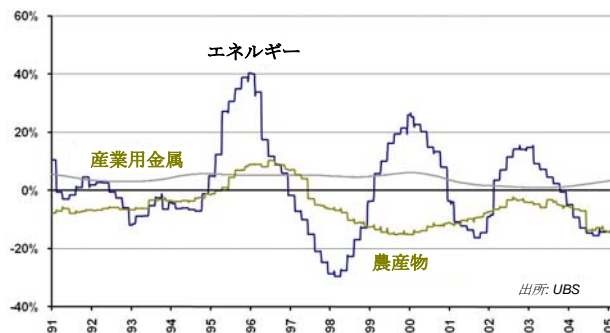
## トータル・リターンとエクセス・リターン

DJ-UBS Petroleum Index<sup>SM</sup> - トータル・リターンとエクセス・リターン  
2000年1月~2006年4月・2000年1月を100とした累計ベース



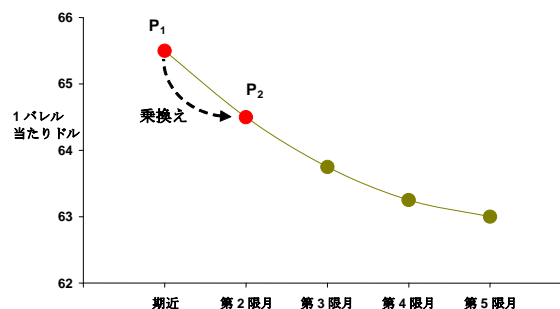
## ロール・リターン

各種 DJ-UBS CI 商品指数のロール・リターン（年率換算）



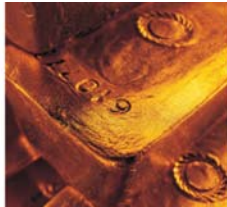
## バックワーディション

原油先物のバックワーディション曲線



## トータル・リターン

スポット・リターン	投資可能ではないが、期近先物価格（現物先物価格）の価格変化率で測定
+ ロール・リターン	常時全額投資された状態にするために、期日到来前に先物契約を乗換えすることから発生するリターン
= エクセス・リターン	無担保の先物ポジションのリターンを測定
+ 証拠金リターン	担保の差し入れに伴う収益
= トータル・リターン	



## 詳細情報

### ETF セキュリティーズ

日本公式ホームページ: [www.etfsecurities.co.jp](http://www.etfsecurities.co.jp)

Eメール: [info@etfsecurities.com](mailto:info@etfsecurities.com)

電話: 03-4360-9101

### その他の情報源

東京証券取引所ホームページ <http://www.tse.or.jp/index.html>

## ETF セキュリティーズについて

ETF セキュリティーズは商品上場投資信託（商品 ETF）のパイオニアとして、2003 年に世界初の商品上場投資信託を上場しました。現在、世界 9 カ国の証券取引所で 180 種類以上の商品上場投資信託を上場し、2010 年 2 月現在の運用資産額は 170 億ドルを上回っています。

東京証券取引所には、商品上場投資信託に加えて、以下の貴金属の地金により担保された 5 銘柄の貴金属上場投資信託を上場しています。

- 1672 ETFS 金上場投資信託(金 ETF)
- 1673 ETFS 銀上場投資信託(銀 ETF)
- 1674 ETFS 白金上場投資信託(プラチナ ETF)
- 1675 ETFS パラジウム上場投資信託(パラジウム ETF)
- 1676 ETFS 貴金属バスケット上場投資信託(貴金属バスケット ETF)

### 免責事項

当資料は、ETFS コモディティ・セキュリティーズ・リミテッドが発行する商品上場投資信託（商品 ETF）についての概要説明のみを目的としており、投資勧誘を目的としているものではなく、また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。

ETF セキュリティーズ・リミテッドおよびETF コモディティ・セキュリティーズ・リミテッドは、日本国内において、業として、有価証券の売買、または、その媒介、取次ぎ、もしくは代理、有価証券の募集もしくは私募またはその取扱い、有価証券の売りましたはその取扱い、投資顧問契約に基づく助言、または財産の運用等は行っておらず、また、そうした意図も有していません。したがって、当資料もそうした目的のためのものではありません。

**指数に関する免責事項:** 「Dow Jones」「UBS®」「DJ-UBSCI<sup>SM</sup>」「DJ-UBSCI-F3<sup>SM</sup>」およびその関連指数またはサブ指数は、場合によりダウ・ジョーンズ・アンド・カンパニー・インク（「ダウ・ジョーンズ」）または UBS AG のサービス・マークであり、発行体により一定の目的のためにライセンスされたものです。DJ-UBSCI<sup>SM</sup>に基づく発行体の証券はダウ・ジョーンズ、UBS AG またはそのそれぞれの子会社、関連会社がスポンサーとなり、保証し、販売または販売促進するものでなく、また、ダウ・ジョーンズ、UBS AG またはそのそれぞれの子会社、関連会社が当該銘柄への投資の妥当性につき表明を行うものでもありません。発行体は、UBS セキュリティーズ LLC がダウ・ジョーンズとともに算出し、ダウ・ジョーンズによって発表される各種商品指数をベースにした証券の価格決定を行うライセンスを供与されています。ダウ・ジョーンズ、UBS AG またはそのそれぞれの子会社、関連会社は、証券に関連して提供された目論見書もしくはその他の情報の正確性、完全性、またはその配布に関して明示的、黙示的を問わず、いかなる表明、保証または約束を行うものでなく、また、いかなる責任または債務も負うものでもありません。**過去の運用実績に関する免責事項:** 本文書に含まれる過去の運用実績はバックテスト（その指数が過去に存在したと仮定した場合、どのような運用実績を上げていたかの計算）に基づいたものです。関連する DJ-UBSCI-F3<sup>SM</sup>（以前の Dow Jones – AIG Commodity Index 3 Month Forward<sup>SM</sup>）は 2007 年 9 月以前は公表されていませんでした（これは Dow Jones-UBS 商品指数「DJ-UBSCI<sup>SM</sup>」と同様の方法で構築されており、1998 年に初めて発表された指数です）。DJ-UBSCI-F3<sup>SM</sup>は DJ-UBSCI<sup>SM</sup>と異なる契約に基づいて価格が決定されており、したがって、両者の運用実績は大幅に異なる場合があります。バックテストの運用実績は純粋に仮定に基づくもので、本文書においては単に情報目的で提供されています。バックテストのデータは実際の運用実績を表わすものではなく、指数または証券の実際の運用実績を示唆するものとして解釈してはなりません。指数の運用実績には管理報酬、取引費用または経費が反映されていません。指数は特定の投資家のために管理されたものではなく、指数に直接的に投資することはできません。